

釧路養護学校における 寄宿舎の教育活動の実践

北海道釧路養護学校 寄宿舎

寄宿舎生数

	釧路養護	鶴野支援学校（聾）
高等部生	1 6	—
中学部生	3	1
小学部生	5	3
計	男子 1 9 人女子 5 人 2 4 人	男子 1 人女子 3 名 4 人
	寄宿舎指導員 1 7 名	

寄宿舎日課表

～知的障害部門～

R2・4生活部

時/曜	月	火	水	木	金
6:30	起床(布団上げ・着替え)洗面				
6:50	配膳				
7:15	朝食(最終下膳 8:15)				
8:00	歯磨き・登校指導				
8:30 ～ 8:45	登 校				
13:15	下校 1～4年 検温 日課の 取り組み	下校 1年 検温 日課の 取り組み	下校 1～8年 検温 日課の 取り組み	下校 1～2年 検温 日課の 取り組み	下校 検温 日課の 取り組み
14:45	下校(検温)	下校(検温)	下校(検温)	下校(検温)	
15:00	入浴 おやつ 日課の 取り組み 自由時間	おやつ 日課の 取り組み 自由時間	入浴 おやつ 日課の 取り組み 自由時間	おやつ 日課の 取り組み 自由時間	入浴 おやつ 日課の 取り組み 自由時間
16:15		掃除の時間		掃除の時間	
16:35	配膳(係活動)				
17:10	夕食(最終下膳18:10)				
17:50	就寝準備(歯磨き・洗面など) 自由時間 月・水・金～入浴				
20:00	小学生 就寝(検温)				
21:00	中高生 就寝(検温)				

寄宿舎日課表

～発達障害部門～

時/曜	月	火	水	木	金
6:15	起床(布団上げ・着替え)洗面				
6:50	配膳(係活動)				
7:00	朝食(最終下膳 7:50)				
8:00	登校準備(歯磨きなど)				
8:10	登 校				
14:45	下校 1～2年 検温 日課の 取り組み	下校 1年 検温 日課の 取り組み	下校 1～3年 検温 日課の 取り組み	下校 1年、3年 検温 日課の 取り組み	下校 1～8年 検温 日課の 取り組み
15:00	入浴 おやつ 日課の 取り組み 自由時間	おやつ 日課の 取り組み 自由時間	入浴 おやつ 日課の 取り組み 自由時間	おやつ 日課の 取り組み 自由時間	入浴 おやつ 日課の 取り組み 自由時間
15:45	下校(検温)				
16:35	配膳(係活動)				
17:10	夕食(最終下膳18:10)				
17:50	就寝準備(歯磨き・洗面など)・おやすみの会 自由時間 月・水・金～入浴				
20:00	小学生 就寝(検温)				
21:00	中学生 就寝(検温)				

※休日日課に関しては知的障害部門と同様とする。

寄宿舎について

寄宿舎は、遠隔地等から通学困難な児童生徒のためにもうけられています。

日常生活を送る場所だけではなく



「子どもの生きる力を育む」

生活の場所

個別の指導計画を作成

生活の手引き

「歯磨き・洗顔・着脱衣・食事・睡眠・布団上げ、敷き・排泄・入浴・係活動・掃除・衣類整理・遊び・コミュニケーション・行動・性・清潔・洗濯等」



個別の指導計画作成



日常生活での指導を実践

寄宿舎の生活指導

1. 「生活のしおり」個別の指導計画

- ・ 春に指導計画の作成を行う
- ・ 前期評価・後期目標設定

2. 棟会議

「より良い指導方法を探る」

- ・ 舎生の課題から効果的な指導方法を検討し、舎生指導の充実を図る
- ・ 年4回実施
 - 男子棟 2グループ
 - 女子棟 1グループ

実践 1

対象舎生 高等部 2 年 男子

重点目標：ひげ剃りができる		
清潔	現在の様子	手立て
	・自分でひげを剃っていない。 ・電動のひげ剃りで指導員が手を添えらと行うことができる。	①指導員と一緒にひげ剃りの説明書を見て上手なひげ剃りの仕方を知る。 ②鏡を見てひげを剃る。電動のひげ剃りで剃る。 ・カミソリ部分を肌に直角に当てる。最初は指導員が手を添えて行う。様子を見ながら指導員の手を離して自分で動かす。 ・鏡を見て行う。 ・鼻の下、顎を中心にひげを剃る。 ・剃り残しがないか指導員と一緒に確認をする。

ひげ剃りができる



実践 2

対象舎生 小学部 6 年 男子

係活動	重点目標：自分の名前をなぞり書くことができる。	
	現在の様子	手立て
	・ ペンを持つ経験があまり無く、文字を書くことに関しては未経験に近い状態である。	・ 自由時間に机に向かい自分の名前をなぞり書きを行っていく。 ・ 当面は指導員が後ろから手を添えてペンを持ちひらがなの氏名を 3 回書く。慣れてきたら自分で持って書く。

指に力を入れることを身につける

1. ペンを持ち文字を書く習慣がつく
2. 自分の名前を書くことが出来る。

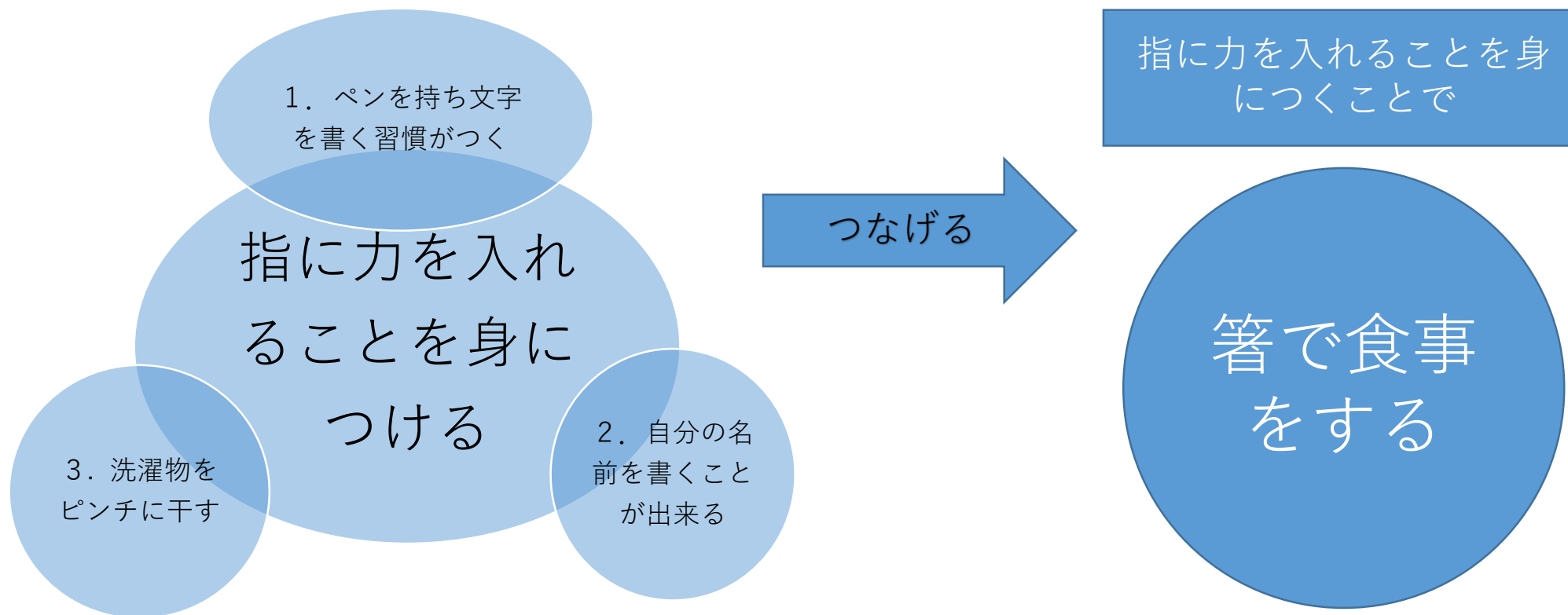
同時に日常生活の中での取り組みとして

1. 洗濯物をピンチに干す



指に力を入れることを身につくことで
「箸で食事をする」つなげていく

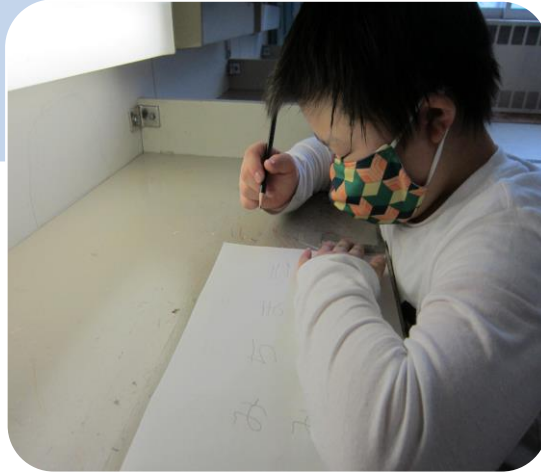
実践からの効果、つなげていく指導



指に力を入れることを身につける

自分の名前をなぞり
書きが出来る

つなげた
指導



ピンチに洗濯物を干
すことが出来る

つなげ
た指導



箸で食事をする



箸の使用状況

昨年度まで使用



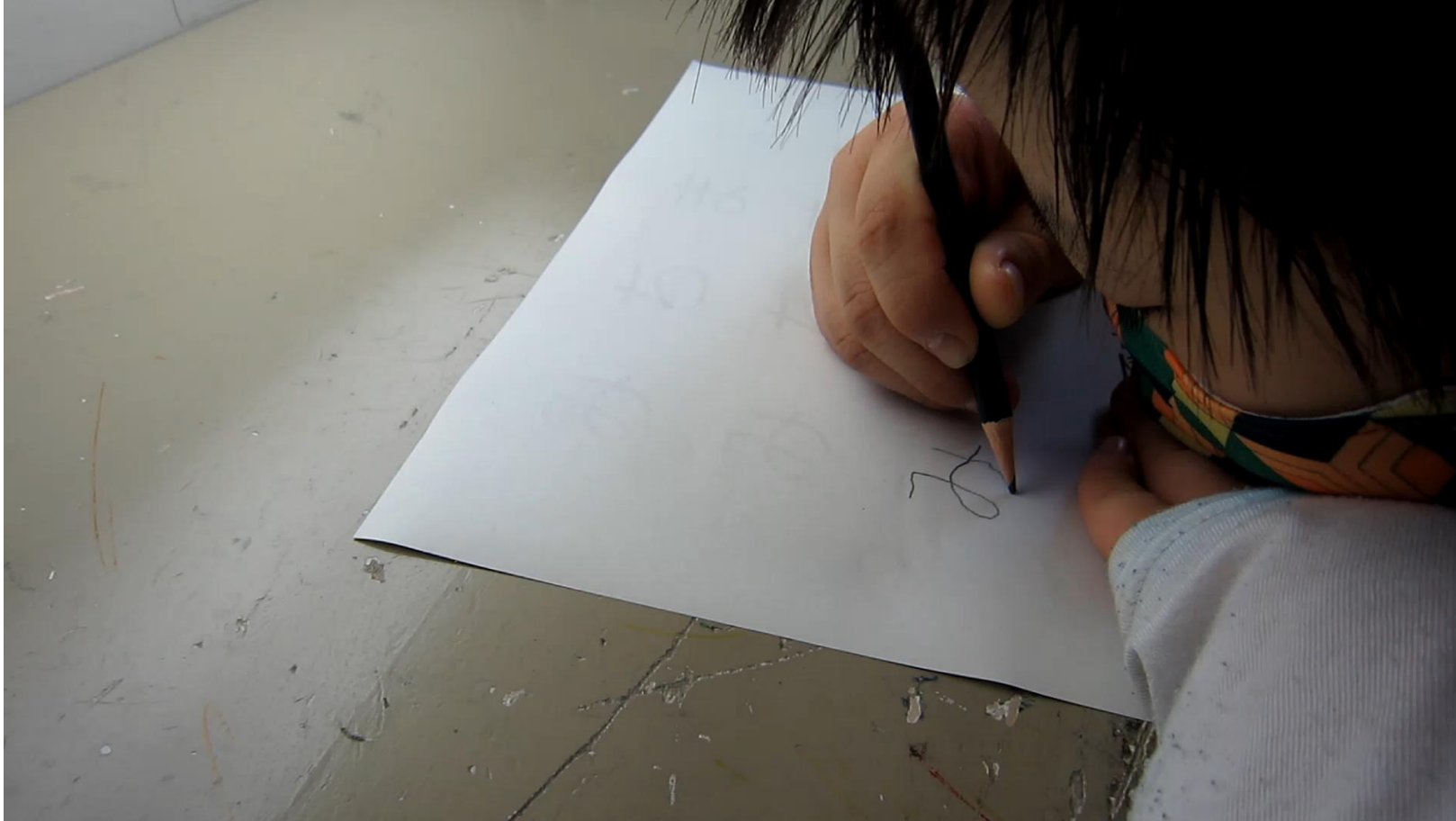
今年度より使用



後期から練習予定



自分の名前をなぞり書くことができる



洗濯物をピンチに干す



棟ケース 1

対象舎生 小学部 6 年男子

テーマ お尻を出さないで排尿ができる。

現在の様子

・ズボンをくるぶしまで下ろして、立ち便器で排尿している。

手立て

・ズボンの前立ての部分を下げて、陰部を出して立ち便器で排尿をしていく。

1. 便器の前に立つ
2. ズボンのウエストに親指を入れる
3. 陰部が出るまでズボンを下げる

取り組みの様子

①左手でズボンの
ウエスト部分を
おさえる



②右手で陰部を持つ

③立ち便器に
向かい排尿をする



棟ケース 2

対象舎生 女子棟

テーマ 対人関係にトラブルを抱える舎生		
	課題・要因	個別のねらい
	課題 友達に対して相手の気持ちを考えずに発言して傷つけてしまうことがある 要因 1. 今まで友だち間でのやりとり（けんかを含めて）の経験の少なさ 2. 障害の特性	S：自分の気持ちを（されて嫌だったなど）を言葉で伝えることができる（もしくは書いて伝える） Y：人を傷つけない言い方で相手に気持ちを伝えることができる S：友達を大切にすることを持つどんなことを言われたら嫌な気持ちになるかを考える N：今の気持ちを（カードで）選んで伝えることができる（おきかえ言葉で伝えることができる）

みんなと楽しく生活するために
どうしたらよいかを考えてみましょう

場面設定

「されたらどんな気持ちになるでしょうか？」

設定：宿題中遊びを誘い、急いで終わらせて来てねと誘う
急いで終わらせていくと、一人で遊んでるからもういいよ
と冷たく振る

勉強会時の舎生の様子

S:恥ずかしくて、直視できず。くり返しが必要な様子。

Y: 話をよく理解していて、発言も積極的にしていた。

S:顔をおおっていたが、話は聞いていた

N:当日は何故勉強会をしているのかと質問がある



勉強会を終え

全体的として、場面設定の内容を理解している。終了後個別に振り返りを行い改めて、どうすることが良いのか確認できた。

再現は、理解しやすい舎生もいたが個別の対応を行うと良い舎生もいたので、個別の対応も実施していく

寄宿舎の生活の様子

起床から登校



下校



手洗い・うがい



掃除



衣類整理・寝具カバー付け



洗濯



余暇

